



XML Consortium

[第六回 XMLコンソーシアム総会]

Web2.0への先進的取り組み

iPLATプロジェクトのご紹介

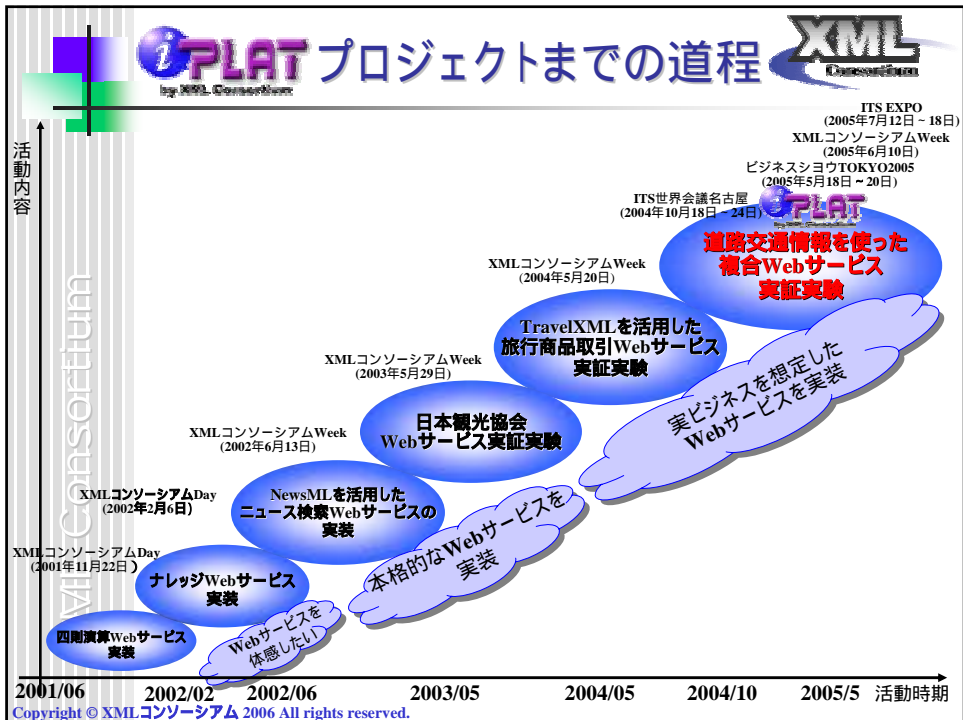
2006年 6月1日

XMLコンソーシアム Webサービス実証部会

松山 憲和 (PFUアクティブラボ株式会社)

matsuyama.nori@pfu.fujitsu.com

Copyright © XMLコンソーシアム 2006 All rights reserved.



『道路交通情報Webサービスを使った複合Webサービス実証実験』 **XML Consortium**

旅行プラン作成システム

財団法人日本道路交通情報センター様が『愛・地球博』開催期間中、渋滞や所要時間などの道路交通情報をWebサービスで試験提供

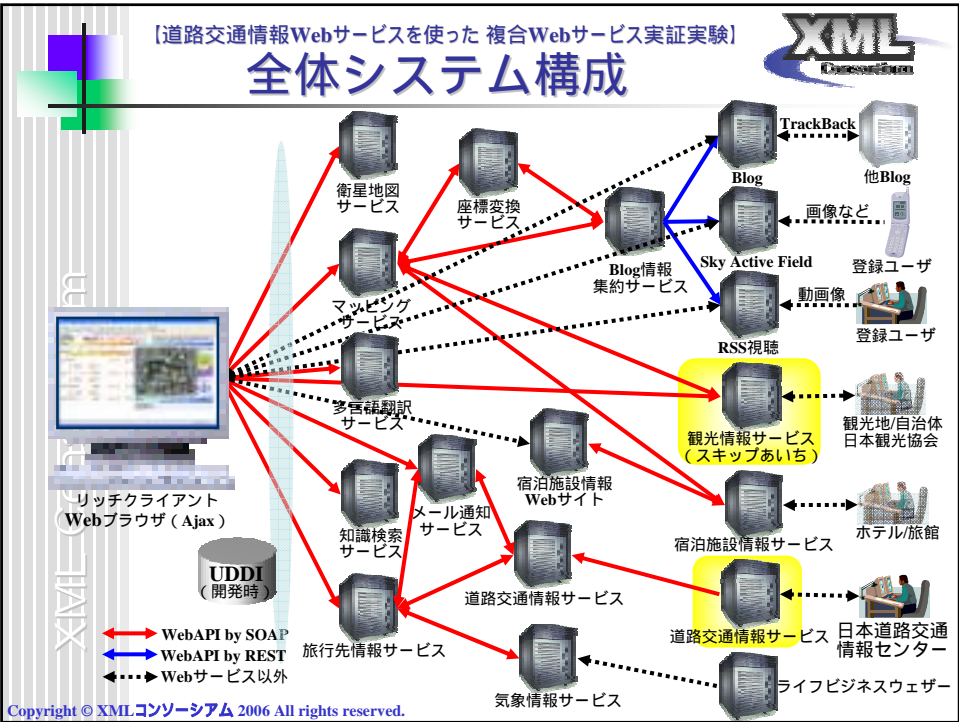
道路交通情報Webサービスを利用したアプリケーション

旅行プラン作成システム：My Travel Planner

道路交通事情、衛星地図、気象情報、観光情報から、最適な旅行プランを作成できるシステム

- 行先は地図から選択したい (ex.観光地の位置関係が分かれば効率的) **通常地図 衛星地図**
- 天気によって目的地も変わってくる (ex.雨だったら、屋内施設) **気象情報**
- 不慣れな土地では道路事情が分からないため、道路交通情報、渋滞などでスケジュールが狂うこともよくある **道路交通情報**
- 事前に観光情報を知っておきたい (ex.名古屋城に関連する情報：織田信長..) **観光情報**
- 観光ガイドには載っていないような最新の穴場 (ex.地元で有名なレストランや観光地) **Blog**

Copyright © XML Consortium 2006 All rights reserved.



[道路交通情報Webサービスを使った 複合Webサービス実証実験]

WebサービスからWeb2.0へ



XML Consortium

参加企業数	全29社 (団体)	実証実験システム開発	20社
		協力会社(会員企業)	2社
		協力団体/企業(会員企業以外)	7社
開発参加メンバ	54名		
開発期間	約4ヶ月間(勤務時間後、休日、業務の合間、会社を休んで)		
開発に使用した製品	18製品 (サービス)	Webサービス/SOA関連	13製品
		その他	5製品
連携したシステム	13個のWebサービス、4個のシステム(Blogなど)		

合計17個のシステムが
Webサービス技術を使って連携して動作するシステムは
Webサービス史上最多/最大!?

Web2.0的視点/技術要素が盛り込まれた
先進的アプリケーション

Copyright © XML Consortium 2006 All rights reserved.



XML Consortium

[第六回 XML Consortium 総会]

Web2.0視点からみた **iPLAT** 第一回 Web2.0勉強会より



Copyright © XML Consortium 2006 All rights reserved.



Web2.0視点



XML Consortium

- データは次世代の「インテル・インサイド」
- プラットフォームとしてのWeb
- リッチなユーザ経験
- ロングテール
- ユーザは協力者、集合知の利用 / ユーザ参加型
- 進歩的性善説
- フォークソノミー
- 進歩的分散志向
- 軽量なプログラミングモデル
- 単一デバイスの枠を超えたソフトウェア
- ソフトウェア・リリースサイクルの終焉

Copyright © XML Consortium 2006 All rights reserved.



データは次世代の「インテル・インサイド」



XML Consortium

コンテンツが命！

- 道路交通情報
- 衛星画像
- 観光データ
- 宿泊施設データ
- 気象データ
- 翻訳辞書
- 百科事典
- ブログ
- 静止画像
- 動画



単一のコンテンツとしても
十分価値を持っているが...

利用シーンによる
コンテンツの組み合わせによって
更に、価値が高まる。

組み合わせるには...

Copyright © XML Consortium 2006 All rights reserved.

プラットフォームとしてのWeb



命であるコンテンツを生かすために！

- コンテンツを外部から利用するためのインタフェース（OSでいうAPI）が必要
- Webサービス by SOAP、Webサービス by REST どちらでも
- 一概には言えないが
 - ・トランザクション系/データ項目が多い/複雑な場合：SOAP
 - ・単発処理、データ項目が少ない/単純な場合：REST
- とはいえ **PLAT** では、コンテンツ提供側のインタフェースやコンテンツ利用者側の使い勝手で使い分け。
 - ・道路交通情報、気象情報、宿泊施設情報、翻訳... SOAP
 - ・ブログ、携帯画像、動画... REST
 - ・衛星画像：SOAP+REST

コンテンツの組み合わせ利用には
インタフェースが必要

APIだけあっても
利用者は使えない...

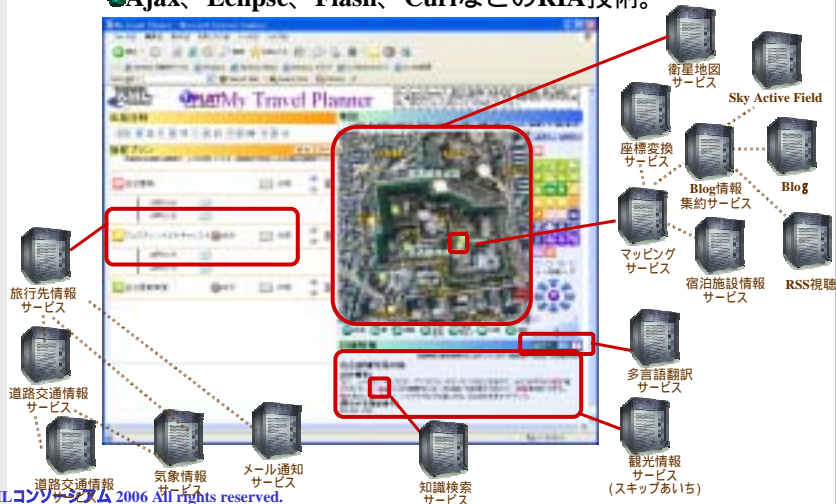
Copyright © XML Consortium 2006 All rights reserved.

リッチなユーザ経験 (1)



コンテンツを効果的に利用するために！

- リッチユーザインタフェースが必要
- Ajax、Eclipse、Flash、CurlなどのRIA技術。



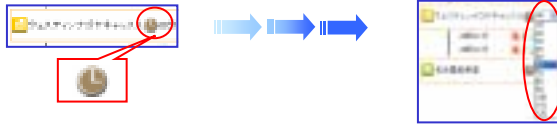


リッチなユーザ経験 (2)

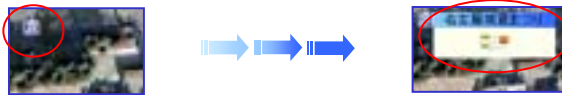


XML Consortium

をクリックすると、滞在時間の選択ボックスを表示



情報アイコンをクリックすると、ツールボックスを表示



Copyright © XML Consortium 2006 All rights reserved.

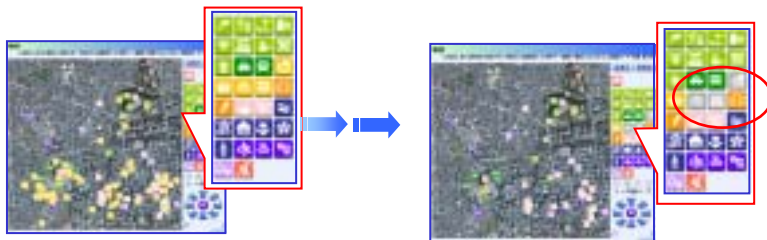


リッチなユーザ経験 (3)

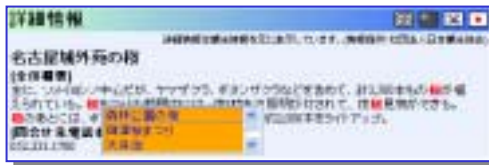


XML Consortium

フィルタボタンをクリックすると、情報アイコンを非表示



キーワードをクリックすると、関連知識のキーワード一覧を表示

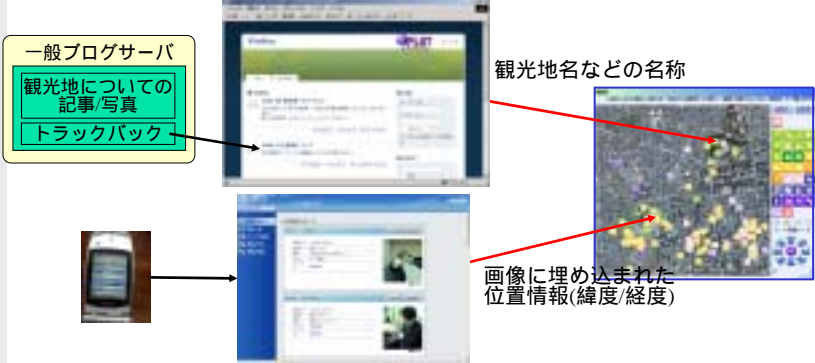


Copyright © XML Consortium 2006 All rights reserved.

ロングテール ユーザは協力者、集合知の利用/ユーザ参加型 進歩的性善説



ブログ/カメラ付き携帯電話レポートシステムを使い
コンテンツを自由に追加



権威ある観光情報だけではなく
口コミ情報など“ロングテール”部分の
幅広い情報を活用

- 情報の信頼性は？
- 利用母数が少ないため評価できず
 - 情報フィルタリングは必要か
 - それとも量的性善説に任せるか

フォークソノミー



何をキーに連携するのか

- 位置情報(緯度/経度、)
- 観光地名(建物名、パビリオン名)
- イベント名(愛・地球博 or 愛知万博...)

観光地名やイベント名は
フォークソノミーによる
分類/関連付けが有効

...Web2.0を意識して、実証実験を行なったわけではないのですが...

果たして、このシステムは『Web2.0』か？

XML Consortium

Web2.0を構成する要素	本システムの機能/特徴/コンセプト
1 ユーザは協力者 集合知の利用/ユーザ参加型	Blog や SKY ACTIVE FIELD による観光情報の追加 ブローカーによる交通情報の提供
2 進歩的性善説	“正当な”観光情報と口コミ観光情報(Blog)などのmix
3 ロングテール	飲食店や特産品へ地図や観光情報からリンク
4 リッチなユーザ経験	リッチクライアントとAjaxによるユーザビリティ向上
5 進歩的分散志向	マッピングWebサービスにより、分散したサービス/コンテンツを簡単に地図上にマッピング可能
6 フォークソノミー	観光情報(メタデータ)のカテゴリズ
7 データは次世代の「インテル・インサイド」	道路交通情報、衛星画像、観光情報、気象情報、翻訳辞書、百科事典などのデータベースをWebサービス経由で利用
8 ソフトウェア・リリースサイクルの終焉	実証実験期間中、どんどん進化していった機能
9 軽量なプログラミングモデル	RSSによる疎連携とWebサービスによる“密”連携
10 単一デバイスの枠を超えたソフトウェア	カーナビ/TV/携帯電話/PDA/キオスク端末でも使えそう？
11 プラットフォームとしてのWeb	各Webサービスは、この実証実験のクライアントからだけではなく、それぞれ単独でもアプリケーションのWebコンポーネントとしてのパフォーマンスを持っている

『Web2.0』的要素を持ったアプリケーション

Copyright © XML Consortium 2006 All rights reserved.

[第六回 XML Consortium 総会]

END

ご清聴ありがとうございました。

Copyright © XML Consortium 2006 All rights reserved.